

福島第一原子力発電所 1号機オペフロダストモニタサンプリング用ホースの外れについて

< 参 考 資 料 >
2 0 2 1 年 3 月 3 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- ✓ 本日（3月3日）午後0時頃、1号機原子炉建屋最上階（オペフロ）周辺のダストを連続監視しているモニタ（以下「オペフロダストモニタ」）の点検を行っていた当社社員が、全4点設置しているオペフロダストモニタのうち、南西側に設置している1点のサンプリング用ホース（以下「当該ホース」）が途中で外れ、本来、オペフロ周辺の空気を吸引・測定するところ、本来の位置より約21m低い位置（オペフロから約10m下部）の空気を吸引・測定していたことを確認しました。
- ✓ 外れていた当該ホースについて速やかに復旧作業を行い、午後0時54分頃、外れていた当該ホースを接続しました。また、接続前後において、ダスト濃度に有意な変動がないことを確認しています。
- ✓ 当該ホースについては、昨年（2020年）12月10日、正常に繋がっていることを確認していることから、その後に外れたものと考えていますが、この間、1号機オペフロダストモニタ（全4点※）敷地境界モニタリングポストならびにダストモニタの指示値に有意な変動がないことを確認しています。
- ✓ 1号機においては、昨年（2020年）11月、ガレキ等撤去作業、およびガレキ落下防止・影響緩和対策が一旦完了しており、オペフロ上部のガレキに触れる作業は行っていないこと、およびこれまでの定期的・継続的な飛散防止剤の散布やこれまでの実績から、オペフロでダストが飛散（ダスト高警報が発生）していた可能性は低いものと考えていますが、今後、当該ホースが外れた原因を調査し、適切に再発防止対策を講じてまいります。

※ 2021年1月25日までは全6点

【参考】オペフロダストモニタ イメージ図

